

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

かんの弘一さんは、「現場の声を都政へ、確かな成果を都民へ」と東京都政に臨む決意を力強く語っています。

東京都議会議員

かんの弘一さん

現場の声を都政へ
確かな成果を都民へ!!



都政の最前線で働く。

3期12年で888問 議会・委員会で積極的に質問

政治は「何を言うか」ではなく「誰がやるか」。どんな優れた政策も実現しなければ意味がありません。常に都政の最前線で沸騰する課題に向き合ってきたかんの弘一さんには、現場で積み上げた豊富な経験と最後までやり遂げる実行力があります。

かんの弘一さんの「最前線」プロフィール

- 1999年 ● 港区議会議員
4期連続当選。白金台どんぐり児童遊園の開設や、芝浦の指定有形文化財・旧協働会館の保存に取り組む。
- 2011年 ● 港区議会議員
CO2排出量削減を目指す港区独自の新制度の実現と東日本大震災の復興支援・防災対策等に取り組む。
- 2013年 ● 東京都議会議員
都議会に挑戦し17,566票を頂戴し初当選、現在3期目。
- 2016年 ● 経済・港湾委員会 副委員長 / 豊洲市場移転問題 特別委員
賛否両論に沸いた築地からの市場移転。ポピュリズムに流されず、科学と正確な情報をもとに委員会で正論を主張。
- 2017年 ● 総務委員会 委員長
被害が甚大化する風水害や首都直下型地震対策に取り組む。
- 2018年 ● 文教委員会 副委員長
社会問題となった待機児童問題の解決に取り組む。
- 2020年 ● 経済・港湾委員会 副委員長
都内産業を所管する委員会に所属。コロナ禍に苦しむ都内中小零細企業への支援と経済対策に注力。
- 2021年 ● 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員長
新設された特別委員会の委員長として、コロナ禍の経済対策だけでなく感染拡大防止策や病床確保に取り組む。
- 2022年 ● 議会運営委員会 理事 / 会派 政務調査会長
会派の政策立案の取りまとめ役として、物価高騰対策やアフターコロナの経済支援策等に重点的に取り組む。
- 2023年 ● 議会運営委員会 委員長 / 会派 幹事長
議会第一会派の幹事長・議会運営委員長として、各会派の利害を調整し、喫緊の都政課題解決に取り組む。
- 2024年 ● 自由民主党東京都支部連合会 幹事長
東京都の地方議員の代表として「国と東京」という視点から都民の利益を守るため全力を尽くすとともに、信頼を取り戻すための組織改革に取り組む。

かんの弘一さんの取り組み #1 物価高騰対策

この夏の水道基本料金
無償化 実現へ!

5月19日、小池都知事に緊急要望を提出。一般家庭 約800万世帯を対象に、この夏 4か月間の水道基本料金が無償化される方針が発表されました。



小泉進次郎農水大臣に
米価格安定化を要望

5月28日、小泉 進次郎 農林水産大臣に緊急要望を提出。一刻も早い米価格の安定化と今回の事態の反省を踏まえた、食料の安定供給・自給率向上の推進を要望しました。



手取りを増やす・所得を上げる

1 異次元の物価高騰対策

- ・ポイント還元を活用した迅速な対応で消費喚起につなげ、家計と経済を底支えます。
- ・保育・家事・習い事・塾などの子育てサービスや社会活動に参加する高齢者への健康長寿ポイントなどの支給により家計負担の削減につなげます。
- ・給付型奨学金の拡大により、若者の可処分所得を増やします。

2 物価上昇を超える賃上げ支援

- ・物価上昇を超える賃上げを実施する中小企業を支援し、大企業との賃金格差をなくします。
- ・非正規の正規化やリスクリング(学びなおし)支援により、収入や生活の安定を図ります。

3 家賃支援と人手不足対策

- ・中小企業が行う従業員への住居手当の支給など、可処分所得を増やす取り組みを強力に後押しすることで、都民の生活の安定と人手不足の解消を進めます。

かんの弘一事務所

〒108-0071
東京都港区白金台 3-17-4

TEL.03-3445-8211 FAX.03-3455-5155

<https://www.kanno-ko.com/>

かんの弘一



SNSで
発信中!



X



Instagram



Youtube



Facebook

小林 鷹之

元 経済安全保障担当大臣
衆議院議員

かんの弘一さん
都政報告会レポート

かんの先生に首都東京の危機管理と人づくりを期待！



衆議院議員の小林鷹之です。今日のかんの弘一先生の都政報告会にお招きをいただきましてありがとうございます。

昨年私が総裁選に挑戦をさせていただいた際に訴えたことは「もう一回世界の真ん中に日本を立たせる」ということです。そのためには国力を高めなければいけない。では**国力とは一体何なのか**。これを今日は少しお話しさせていただきたいんですけども、国民の皆様の暮らしを豊かにする「経済」と国の「安全保障」この2つが国家戦略の根幹にあると思っています。

そしてこの経済と安全保障を下で支えているのがイノベーション。世の中に新しい価値を生み出していく力、これが2つを支えていく。

でも結局それを生み出すのは人なので、全ての根幹には**人づくり**、教育がある。**経済と安全保障とイノベーション**、そして全ての根幹に**教育**があってそれをバランスよく高めていくことで、日本を世界の真ん中につなげていく。それが私の考えです。

今、国力の説明をさせていただきましたけれども、東京においても実際同じだと私は思っているんです。

ただ、一つ違うというか、似ているところがあるとすると、安全保障、これは国が担う部分なので、自治体に置き換えれば防災や危機管理だと思っています。

私は政治の要諦、一番重要なポイントは、この**安全保障であり、危機管理だ**と思っています。

かんの先生は、首都直下地震一おこってもらいたくないけれども、起こることを前提にしておかなければいけないーこの対策を都議会の先頭に立って進めてこられましたし、あのコロナのときも、都議会に立ち上げられた特別委員会の初代の委員長として、非常に意識を高く取り組まれてきたと伺っています。

実は私がかんの先生に期待していることがあります。

少し前に政府に対して要請をし、何が起こるかわからないので、自動車を含めていろいろな企業が集まっている名古屋に大規模なサイバー攻撃が起きて、大停電が起きて、情報通信もとまった場合、このとき何が起こるのか机上演習を、政府や自治体だけではなく民間企業の方にも集まっていただいて、シミュレーションしたんです。いろいろな課題が出てきて、今それを一つ一つ国の方で法律を整えたり予算をつけたりして解決しようとしています。名古屋でやりました。でも本当に何かが起こったときに一番被害が大きいと推定されるのがこの東京です。経済、文化、政治の中心。まさにそういう状況だからこそ、**かんの先生には引き続き都議会の先頭に立って危機管理を担っていただきたい**と思います。役所の方も頑張ってくださいけれども政治家こそがいろいろなことを想定して**リーダーシップを発揮するのが危機管理だ**と思っています。

そして、もう一つ私が **かんの先生に期待**をしている

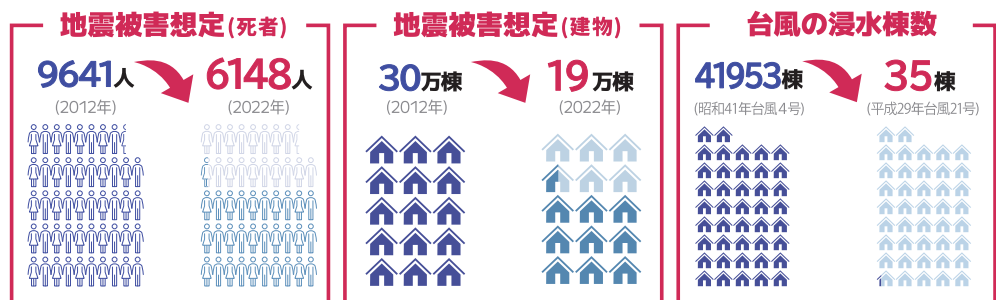


のが**人づくり**です。算数、国語、理科、社会、これも重要だと思うけれども、これから私たちが、あるいは子供たちが向かっていかなければいけない社会というのは**不確実性が高まった社会**です。

そこにはリスクもあるけれども、チャンスもある、その**チャンスを自分たちの力でつかみとるような人材づくりが必要だ**と思っています。今言ったような知識の蓄積も重要ですが、不確実な状況に置かれたときに子供たちや若い方たちが自分の頭で考えて、自分の腹で決めて、自分の意思で行動できるような人間力のある人材をこの港区から、東京から、一人でも二人でも多く輩出していくことこそが、この東京都の、そして日本の将来の力を決めると、私は確信しています。まさに次世代へのこの思いをつないでいただくために、かんの先生には引き続き都政の最前線に立って引っ張っていただきたいと思います。ありがとうございました。



かんの弘一さんの取り組み #2 防災力強化



わが会派はこれまで首都機能を支える地震や風水害の備えを推進。老朽化マンションの耐震化や建替え支援などさまざまな施策を実施し、地震被害想定や台風の浸水棟数の大幅な削減を実現しました。

今後も東京都の防災を統括する総務委員会の委員長を務めた経験とこれまで所属した各委員会での議論の蓄積を総動員し、縦割り行政を打破し、セクションを超えた横断的な防災対策を行います。

防災・マンション修繕を進める

1 巨大地震・噴火や風水害対策

- 首都直下地震等へ備えるべく、木造密集地域の解消や液状化対策に取り組みます。
- 環状七号線地下河川の整備などで激甚化する台風や豪雨災害へ備えます。

2 マンション修繕費・建て替え支援

- 簡易トイレなど防災資機材の購入に最大100万円の助成を行います。
- 修繕積立金の確保・運用をサポートし、将来の修繕や建て替えへの備えを進めます。

3 強靱な東京のインフラを実現

- いかなる状況でも「つながる」強靱な通信環境を確保します。
- 外環道など道路ネットワーク、新路線など新たな鉄道ネットワークの充実を進めます。

縦割り行政を打破し横断的に東京の防災力を強化します！

これまでの取り組みとこれからの課題

首都直下地震の備えを急ぐ！

- 都道から区道へ更なる無電柱化で緊急輸送道路を守る(建設局)
- 東京最大の弱点 木造密集エリアの不燃化 (都市整備局)
- 消防団の環境整備・多摩や島しょ部での防災ドローンの配備(総務局)
- 感染症との複合災害への備えを万全に (総務局)

都市型水害への備えも重要！

- 防潮堤・水門整備で芝浦・港南地域を津波・高潮から守る (港湾局)
- 新橋などの地下街を浸水から守る (都市整備局)
- 大雨時、古川などの河川の増水を防ぐ地下調節地の整備 (建設局)
- 赤坂地域などを集中豪雨から守る幹線・ポンプ所の整備 (下水道局)
- 堤防を整備し東京東部低地帯を大水害から守る (建設局)



集合住宅の災害対策を進める！

港区内住宅の9割を占めるマンションなど集合住宅の災害対策は急務。

- 老朽化マンションの耐震化・建て替え支援 (都市整備局)
- 集合住宅の自宅避難支援・防災備蓄資機材の購入補助 (住宅政策本部)
- (簡易トイレやエレベーターに設置する防災キャビネットなど)
- 倒壊の危険性が高いピロティ階を有する旧建築基準マンションに、緊急補強のための設計・工事に対する補助を実現 (住宅政策本部)
- 非常用電源となる発電機や蓄電池設置の補助に加え、エレベーター閉じ込め防止対策、マンホールトイレ、太陽光発電設備、備蓄倉庫の設計などにも補助を拡大・実現 (住宅政策本部)

